

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名(報告用)	担当課	自己 評価	達成状況	ページ
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	1 1 1 - 1	荒廃森林の整備	農林振興課	3	○	1
			1 1 1 - 2	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	2		
		里山の保全	1 1 2 - 1	竹粉碎機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	4		
		保安林の整備による自然災害の防災・減災	1 1 3 - 1	市有保安林の整備	農林振興課	5		
	生物多様性の保全	希少動植物・在来種の保護・保全	1 2 1 - 1	希少動植物・在来種に関する情報発信	環境整備課	5	◎	2
		外来生物の拡大防止	1 2 2 - 1	外来生物に関する情報発信	環境整備課	5		
		自然とふれあえる場の創出・確保	1 2 3 - 1	自然観察会の開催	環境整備課	5		
			1 2 3 - 2	水生生物観察会等による自然と触れ合う機会提供	環境整備課	3		
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	河川などの水質改善	汚水処理人口普及率の向上	2 1 1 - 1	公共下水道の整備	下水道課	4	◎	3
			2 1 1 - 2	浄化槽設置整備事業補助金の交付	企業管理課	4		
			2 1 1 - 3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	4		
		水質の監視、水質改善の啓発活動の推進	2 1 2 - 1	下水道施設における放流水質の管理	下水道課	5		
			2 1 2 - 2	廃食用油回収事業の推進	環境整備課	5		
			2 1 2 - 3	遠賀川水系における水質の監視	環境整備課	5		
	環境美化活動の推進	まちなか美化活動の推進（花いっぱい運動、一斉清掃）	2 2 1 - 1	屋外広告物の除却による景観保全	都市計画課	3	○	4
			2 2 1 - 2	花いっぱい活動の推進	都市計画課	4		
			2 2 1 - 3	ごみネット購入費補助金の交付	環境整備課	4		
			2 2 1 - 4	ボランティア袋の交付	環境整備課	4		
		生活マナーの向上（ポイ捨て、ペットの糞の放置防止）	2 2 2 - 1	生活環境の保全に関する条例に基づく指導	環境整備課	4		
			2 2 2 - 2	地域猫活動の促進による糞害被害の防止	環境整備課	3		
	公害対策の徹底	不法投棄防止	2 2 3 - 1	環境パトロール等の実施	環境対策課	4	○	5
		騒音、振動、悪臭など公害の監視・指導の徹底	2 3 1 - 1	事業活動等の監視による公害の防止	環境整備課	4		
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	スリ4R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	ごみ発生抑制（断る、減らす）	3 1 1 - 1	ペーパーレス化の推進	業務改善・DX推進課	4	○	6
			3 1 1 - 2	生ごみ処理機に関する普及・啓発	環境整備課	4		
		再利用・再資源化の促進	3 1 2 - 1	資源回収団体奨励補助金の交付	環境整備課	5		
			3 1 2 - 2	ペットボトルキャップ回収事業の促進	環境整備課	4		
			3 1 2 - 3	フリーマーケット等の開催による再利用（リユース）の促進	環境整備課	4		
	省エネ活動、再生可能エネルギーの導入の促進	国民運動「COOL CHOICE」の推進	3 2 1 - 1	市民向け啓発事業の開催による省エネ行動の促進	環境整備課	5	◎	7
		家庭や事業所、学校などへの省エネ・再エネ設備導入促進	3 2 1 - 2	市職員の省エネ行動促進	環境整備課	5		
			3 2 2 - 1	公共施設における再生可能エネルギー利用の促進	環境整備課	5		
			3 2 2 - 2	再生可能エネルギー導入目標の策定	環境整備課	対象外		
		地産地消の推進（フードマイレージの低減）	3 2 3 - 1	地産地消の推進	農林振興課	5		
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進（重点施策）	情報多様化手段	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 1	市公式ホームページの充実	情報管理課	4	◎	8
			4 1 1 - 2	「広報いいづか」による情報発信	情報管理課	4		
		ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 1	AI自動応答サービスの導入推進	業務改善・DX推進課	5		
			4 1 2 - 2	小中学校における情報機器の導入推進	学校教育課	5		
	多様な交流主体、連携の推進	自治会・交流センターの活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 1	中央公民館の利用促進	生涯学習課	4	○	9
			4 2 1 - 2	交流センター等を活用した市民サークル活動の促進	生涯学習課	5		
			4 2 1 - 3	まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	まちづくり推進課	5		
			4 2 1 - 4	自治会への加入促進	まちづくり推進課	4		
		多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 1	環境に関する市民ワークショップの開催	環境整備課	廃止		10
			4 2 2 - 2	市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出	市民活動支援課	4		
		環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 1	ワークショップ開催によるネットワーク形成支援	環境整備課	廃止		
			4 2 3 - 2	エコスタいいづか開催による情報交換の機会提供	環境整備課	4		
	環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティセンター、交流センターを活用した講座、セミナーイベントの拡充支援	4 3 1 - 1	コスモス大学における講座開催	生涯学習課	5	◎	11
			4 3 1 - 2	エコ工房の利用促進	環境整備課	4		
		専門家による自然観察会の開催	4 3 2 - 1	自然体験プログラム「いいねん！」の開催	環境整備課	5		
		学校などにおける環境教育の推進	4 3 3 - 1	環境学習教材の配付	環境整備課	5		
			4 3 3 - 2	小中学校における環境保全活動の推進	環境整備課	中止		

自己評価
5 → 達成（100%）
4 → 50%以上達成
3 → 50%未満達成
2 → 検討したが未着手
1 → 未着手

達成状況
（＝自己評価平均）
4.5～5.0 → ◎
3.5～4.5 → ○
2.5～3.5 → △
2.5未満 → ×

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価									
							指標名称【単位】	目標値及び実績値													
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	森林や水源の保全	適正な森林整備による水源涵養機能、二酸化炭素吸収機能の維持・向上	111-1	荒廃森林の整備	農林振興課	公益的機能を長期的に発揮できる森林を目指すために、平成30年度から令和9年度までの10か年で公益的機能が発揮できなくなる恐れのある人工林で間伐等を実施するもの。 ※福岡県森林環境税基金からの交付金（交付率10/10）を活用。 ※H30～R4年度における5か年整備目標：834ha ※R5～R9年度における5か年整備目標：593.24ha	荒廃森林整備面積（累計）	令和6年度目標値 593.24	令和7年度目標値 593.24	令和8年度目標値 593.24	令和8年度及び9年度に実施を予定している2/2回目の間伐が必要な箇所を特定するため、現況調査を実施した。	令和9年度で当該事業が終了するため、2/2回目間伐を進めている。	350%未達成								
								令和6年度実績値 196.47	令和7年度実績値 216.61												
							荒廃森林整備面積（単年度）	令和6年度目標値 151.97	令和7年度目標値 94.57	令和8年度目標値 150.84											
								令和6年度実績値 73.59	令和7年度実績値 20.14												
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度											
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	縮小	縮小	縮小											
			111-2	森林・山村多面的機能発揮対策交付金の交付	農林振興課	森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民等による里山林保全・竹林整備及び森林資源利用・森林機能強化等の共同活動への支援のため交付金を交付する。	活動組織数【組織】	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	令和8年度目標値 1	新規団体設立に関する相談が1件あった。	構成員の高齢化により活動を休止する森林ボランティア団体が増加しているため、新規で団体を設立するまでに至らないことが多い。	2検討したが未着手								
								令和6年度実績値 0	令和7年度実績値 0												
							整備・保全等された森林の面積【ha】	令和6年度目標値 12.9	令和7年度目標値 10	令和8年度目標値 10											
								令和6年度実績値 0	令和7年度実績値 0												
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度											
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充											
		里山の保全	112-1	竹粉砕機の貸出による放置竹林伐採の促進	農林振興課	里山の荒廃や放置竹林面積の増加等といった地域課題を解消するため、竹粉砕機を導入し、市民団体や市民へ貸し出し、その活動支援を行うことで里山林保全や竹林整備につなげるもの。	竹林伐採面積【ha】	令和6年度目標値 0.5	令和7年度目標値 2.4	令和8年度目標値 2.4	私有竹林整備について、竹林所有者に対して整備の意向調査を行い、施業計画を作成した。	荒廃した私有竹林の整備のため、今後は竹林所有者との協定締結の業務委託、また協定を締結した私有竹林の伐採等の施業を行う必要があるため。	450%以上達成								
								令和6年度実績値 2.2318	令和7年度実績値 0.7026												
							竹粉砕機貸出日数【日】	令和6年度目標値 192	令和7年度目標値 192	令和8年度目標値 192											
								令和6年度実績値 189	令和7年度実績値 140												
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度											
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充											
							保安林の整備による自然災害の防災・減災	113-1	市有保安林の整備	農林振興課				市有保安林が水源涵養、災害防止等の指定されている目的を果たしていけるように適切な維持管理を行う。	生活環境保全林管理【ha】	令和6年度目標値 2	令和7年度目標値 2	令和8年度目標値 2	荒廃していた遊歩道周辺の樹木を間伐し、日の光が差し込むよう整備を行ったことで、市民も訪れやすい遊歩道となった。	今後、生活環境保全林としての機能を適切に発揮できるように県との協議に基づいて整備を進める必要がある。	5達成（100%）
																令和6年度実績値 2	令和7年度実績値 2				
															計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
															事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			
															次年度以降の改善策						
															県との協議に基づき適切に整備を行う。						

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ 豊かな自然と人が共生する環境をつくる	生物多様性の保全	希少動植物・在来種の保護・保全	1 2 1 - 1	希少動植物・在来種に関する情報発信	環境整備課	市報等の媒体により、保護・保全すべき希少動植物、在来種の情報発信を行う。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の動植物を保全する意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値	市報にて、特定外来生物の「セアカゴケグモ」について情報掲載を行った。 セアカゴケグモの特徴や駆除方法を周知し、生態系への悪影響や人的被害について掲載することで、生態系の保全についての情報掲載を行った。 また、自然体験プログラムを14回開催しており、延べ216名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。 出前いいねん！では、幼稚園児や児童クラブの子ども達に身近な生き物や植物について学ぶ機会を提供した。	市報掲載料は1年に1回、1頁分の予算計上であり、発信する情報の選別が要される。 自然体験プログラム新規参加者の更なる獲得が課題となる。	5 達成（100%）
								1	1	1			
								令和6年度実績値	令和7年度実績値				
							1	1					
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値			
							220	140	230				
							令和6年度実績値	令和7年度実績値					
		223	216										
		計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策							
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知							
		外来生物の拡大防止	1 2 2 - 1	外来生物に関する情報発信	環境整備課	市報、市ホームページ等の媒体の活用により、外来生物に関する情報発信を行い、外来生物を発見した際の適切な対応の周知に努め、拡大の防止を図る。 また、自然体験プログラムを開催し、参加者の生態系に関する知識や保全意識の醸成を図る。	市報（環境コラム）における外来生物に関する情報発信【回】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値	市報にて、特定外来生物の「セアカゴケグモ」について情報掲載を行った。 セアカゴケグモの特徴や駆除方法を周知し、生態系への悪影響や人的被害について掲載することで、生態系の保全についての情報掲載を行った。 また、自然体験プログラムを14回開催しており、延べ216名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。	市報掲載料は1年に1回、1頁分の予算計上であり、発信する情報の選別が要される。 出前いいねん！を引き続き開催し、通常のいいねん！の魅力を参加者に伝わる様な取り組みが今後の課題となる。	5 達成（100%）
								1	1				
								令和6年度実績値	令和7年度実績値				
							220	140	230				
							令和6年度実績値	令和7年度実績値					
							223	216					
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による各種事業の周知							
		自然とふれあえる場の創出・確保	1 2 3 - 1	自然観察会の開催	環境整備課	主に小学生とその親世代を対象とした自然体験プログラム「いいねん！」を開催し、広く市民に自然と触れ合う機会の提供を行う。	自然体験プログラム開催数【回】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値	自然体験プログラムを14回開催しており、延べ216名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。 自然と触れ合う貴重な機会として子どもたちが楽しんで参加している。	自然体験プログラムの新規参加者の更なる獲得が課題となる。	5 達成（100%）
								22	14	8			
								令和6年度実績値	令和7年度実績値				
							21	14					
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値			
							220	140	230				
							令和6年度実績値	令和7年度実績値					
			223	216									
			計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策						
			事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	縮小	維持	小学生の保護者向けに情報配信できるtetoruでの事業の周知						
1 2 3 - 2	水生生物観察会等による自然と触れ合う機会提供		環境整備課	エコ工房において、水生生物観察会やバードウォッチング等を開催し、参加者に自然と触れ合う機会の提供を行う。	関連講座の開催回数【回】	令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値	エコ工房が実施する環境教室の一環として、水生生物観察会を1回、バードウォッチングを1回実施した。 水生生物観察会については、4月中止で、実施できていない。	特に水生生物観察会の実施にあたっては、開催にあたって河川の水量も考慮する必要があり、開催前日も含めた天候の影響を受けやすい。	3 50%未満達成		
						3	3	3					
						令和6年度実績値	令和7年度実績値						
					2	2							
		関連講座の参加人数【人】			令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値						
		60			60	30							
		令和6年度実績値			令和7年度実績値								
14	14												
計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策									
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	小学生の保護者向けに情報配信できるtetoruでの事業の周知									

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価				
							指標名称【単位】	目標値及び実績値								
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	河川などの水質改善	汚水処理人口普及率の向上	2 1 1 - 1	公共下水道の整備	下水道課	市民の快適で衛生的な生活環境の整備と、公共用水域の水質を保全するため、公共下水道と合併浄化槽の普及促進により汚水処理を行っている。このうち公共下水道での整備を行う事業計画区域について、未整備区域の状況調査を行い、調査結果により一定の条件に合致する区域を除外する計画を、令和4年度に策定した。当該区域については公共下水道整備を一旦、休止し合併浄化槽での汚水処理を普及するものとする。今後は公共下水道と合併浄化槽での一体的な汚水処理の効率化を図る。	整備面積【ha】	令和6年度目標値 1,608	令和7年度目標値 1,608	令和8年度目標値 1,612	事業計画面積1612haのうち1598.1haの整備が完了し、約5.4万人の市民が公共下水道を利用している状況であり、事業の目的である市民の快適で衛生的な生活環境の整備と公共用水域の水質保全に寄与しているものとする。	公共下水道事業計画区域の変更により公共下水道を整備する区域の実施設計を行い、令和9年度の整備完了を目指す。	4 50%以上達成			
								令和6年度実績値 1,588.2	令和7年度実績値 1,598.1							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				・要望の多い箇所を抽出し、計画的・効率的な箇所から整備を実施する。 ・今後の管渠等の整備については、水洗化意向調査等を把握し、費用対効果の高いところから整備を進める。		
							浄化槽設置基数【基】	令和6年度目標値 218	令和7年度目標値 218	令和8年度目標値 235				昨年度より、浄化槽設置基数については減少したが、普及率については向上している。	水質改善を図る上では合併浄化槽への転換が重要であり、未だくみ取便槽、単独処理浄化槽を使用している世帯に対し、合併処理浄化槽への転換を誘引するための策を講ずる必要があるが、現時点ではより適切な手法が見当たらない。	4 50%以上達成
								令和6年度実績値 209	令和7年度実績値 176							
			浄化槽普及率※浄化槽設置人口/総人口【％】	令和6年度目標値 40	令和7年度目標値 40	令和8年度目標値 40	次年度以降の改善策	水質改善に関する普及啓発のほか、補助制度を周知することで普及率の向上に努める。								
				令和6年度実績値 37.1	令和7年度実績値 37.7											
			計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度										
				事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持									
			2 1 1 - 3	公共下水道の水洗化促進	企業管理課	個人が自宅の排水設備（水洗化）工事を行うにあたり、経済的負担を軽減させる制度を運用し、公共下水道の水洗化率の向上を図り河川の水質を向上させる。	公共下水道の水洗化率※水洗化人口/処理区域内人口【％】	令和6年度目標値 100	令和7年度目標値 100	令和8年度目標値 100	水洗便所等改造費補助金 21件、水洗化率向上 0.21ポイント	制度の周知方法の検討や、経済的理由により水洗化(接続)工事が困難な家庭に対する積極的な相談業務等を行う必要がある。	4 50%以上達成			
								令和6年度実績値 91.77	令和7年度実績値 92.89							
	計画年度	令和8年度					令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策							
	事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充					維持		愛宕団地下水道整備工事に伴い、整備地域が拡大されるため、整備地域における積極的な下水道接続の啓発活動を行うとともに、下水道整備計画等も勘案し、水洗便所等改造費補助金の件数や補助金額の増額等について検討する。							
	2 1 2 - 1	下水道施設における放流水質の管理					下水道課	下水道施設（ポンプ場・処理場）に対し、適切な維持管理を実施することにより、施設の能力を最大限に発揮し、安定的で良好な放流水質を確保する。	放流水の目標値に対する達成度※目標値（10ppm）/放流水の年間平均BOD値×100【％】	令和6年度目標値 100	令和7年度目標値 100	令和8年度目標値 100		公共用水域の水質保全等を図るため、適切な維持管理を実施し、BOD平均値（2.49ppm）が目標値(10ppm)を下回ることができた。この水準を維持していくことで、突発的な事故が起きても排水基準(20ppm)以内に抑えることができる。	生物処理の性質上、流入水の水温低下や降水時の極端な水温変動、流入量の負荷変動に対し、水質が大きく影響されるため、運転方法を細かく制御し、放流水水質の安定化を図る必要がある。	5 達成（100%）
										令和6年度実績値 429.18	令和7年度実績値 401.6					
			計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			次年度以降の改善策							
			事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			水温低下や降水等の負荷変動に対して、引抜汚泥量、返送汚泥量、滞留時間等の運転調整を細かく行い、放流水水質の変動を最小限に抑える。							
			2 1 2 - 2	廃食用油回収事業の推進	環境整備課	家庭排水による河川の水質汚濁防止活動の一環として、市役所・各支所・交流センター等に廃食用油回収ボックスを設置し、各家庭から出る廃食用油の回収事業を実施する。回収した廃食用油は、塗料等にリサイクルされる。			廃食用油回収量【kg】	令和6年度目標値 5,000	令和7年度目標値 5,000	令和8年度目標値 5,000	18箇所に設置した廃油回収ボックスにて、5,640kgの廃食用油の回収を行った。	今後もさらに回収量増となるように周知を行う。	5 達成（100%）	
										令和6年度実績値 3,600	令和7年度実績値 5,640					
	計画年度	令和8年度					令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策							
	事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持					維持	維持	市報、市ホームページ、公式SNS等の様々な媒体による事業の周知。							
	2 1 2 - 3	遠賀川水系における水質の監視	環境整備課	遠賀川水系の水質検査を39地点（令和3年度）にて実施し、水質の監視に努める。	水質検査実施箇所数【箇所】	令和6年度目標値 39	令和7年度目標値 31	令和8年度目標値 31	遠賀川水系の水質検査（31地点）を年2回（9月、2月）実施した。	9月検査で1か所、2月検査で7か所、基準を超過した地点が確認された。9月検査については土壌が雨水により河川に流入したこと、2月検査については降水量が非常に少なく雨水により河川が希釈されなかったことが考えられるため、継続して数値の注視を行う。	5 達成（100%）					
						令和6年度実績値 39	令和7年度実績値 31									
水質検査における環境基準達成率【％】※BOD達成箇所/水質検査実施箇所					令和6年度目標値 85	令和7年度目標値 85	令和8年度目標値 85									
					令和6年度実績値 90	令和7年度実績値 87										
計画年度					令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策								
事業の方向性（維持・拡充・縮小）					維持	維持	維持	今後、水質検査地点の効率的な見直しを行い、検査効果を維持しながらコスト削減に努める。								

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	環境美化活動の推進	まちなか美化活動の推進（花いっぱい運動、一斉清掃）	2 2 1 - 1	屋外広告物の除却による景観保全	都市計画課	屋外広告物を正しく表示するルールを定めることにより、良好な景観の形成を図ることを目的とし、屋外広告物の掲出許可及び違法広告物の除却等を実施する事業である。なお、本事業は福岡県屋外広告物条例に基づいており、平成12年度より県から市町村への権限移譲となっている。	適切に管理されていない違法屋外広告物の除却枚数【枚】	令和6年度目標値 240	令和7年度目標値 152	令和8年度目標値 81	市報に屋外広告物の適正な掲出について掲載し、啓発活動を実施した。また、屋外広告物更新申請の案内文について、より分かりやすい内容になるよう見直しを行った。 違法屋外広告物広告物の除却件数については減少傾向にあり、屋外広告物の適切な掲出についての認識が根付きつつある。	減少傾向ではあるが依然として違法屋外広告物の掲出が続いているため、啓発活動等の継続を図る。	3 50%未満達成
							令和6年度実績値 116	令和7年度実績値 52					
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			
							次年度以降の改善策						
			2 2 1 - 2	花いっぱい活動の推進	都市計画課	花を通じた各種事業の展開により明るい郷土とすることを主目的とし、併せて景観の向上や地域コミュニティの形成を図る。	協議会会員数【人】	令和6年度目標値 170	令和7年度目標値 170	令和8年度目標値 170	SNSを活用し、役員との円滑なコミュニケーションが可能となり、市内美化運動や協議日時の調整が容易となった。 県外から講師を招き、花に興味のある方と共に飯塚市役所前花壇を整備することや、花いっぱい運動への参加促進を行い、花に興味を持つ方を増加させることができ、花いっぱい運動についても周知を行うことができた。 花壇コンクールについても昨年度より参加者が増加し、市内美化活動についてより把握ができた。	協議会会員、役員共に高齢化が進んでおり、活動規模が縮小傾向にある。会員からいただいた寄付金の使い道が、会員に伝わっていない現状であり、より広報活動を行うことで活動団体・寄付額の上昇に繋がる。 また、花苗や種子を予算の範囲内での配布を続けているが、配布したものが実際にどこまで花壇づくりに使われているかを確認できていないため、まずは各団体の花壇の位置を把握し、花苗等の活用状況を調査する必要がある。	4 50%以上達成
							令和6年度実績値 163	令和7年度実績値 163					
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充			
							次年度以降の改善策						
			2 2 1 - 3	ごみネット購入費補助金の交付	環境整備課	市民がごみネットを購入する際に、その費用の一部に対して補助金を交付することにより、地域のごみ集積所のごみの散乱を防ぎ、住環境の美化に努め、地域の環境保全に寄与する。	補助金を利用し、ごみネットを購入した枚数【枚】	令和6年度目標値 30	令和7年度目標値 30	令和8年度目標値 30	市報や市ホームページ等にて広報を行い、20枚の交付申請を得た。	令和4年度から令和7年度（2月時点）の間に交付した申請者を地区別でみると、全交付者数99名のうち、飯塚地区が88名となっている。このことから、飯塚地区以外での申請者を増やすために各支所等と協力して周知を行い、成果を拡充させていく。	4 50%以上達成
							令和6年度実績値 38	令和7年度実績値 20					
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充			
							次年度以降の改善策						
			2 2 1 - 4	ボランティア袋の交付	環境整備課	飯塚市内の公共の道路その他公共の場所の清掃を行うためのボランティア袋を交付し、市民によるボランティア清掃活動を促進する。	ボランティア袋配付枚数【枚】	令和6年度目標値 7,500	令和7年度目標値 16,000	令和8年度目標値 15,000	地域環境の保全と美化のため、合計15,961枚のボランティア清掃ごみ袋を申請者へ配付し、19,295人がボランティア清掃を行った結果、清潔で快適な地域環境の維持に寄与した。	ボランティア清掃活動の実施が活発でない地域への環境美化活動事業の紹介や、ボランティア清掃への新規参加者の獲得のため、この事業の更なる周知を行う必要がある。	4 50%以上達成
							令和6年度実績値 15,499	令和7年度実績値 15,961					
							清掃実施回数(申請数)【回】	令和6年度目標値 180	令和7年度目標値 180	令和8年度目標値 300			
							令和6年度実績値 411	令和7年度実績値 264					
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
	次年度以降の改善策												
	事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持					維持	維持					
	当事業に関する情報周知の実施												
	生活マナーの向上 (ポイ捨て、ペットの糞の放置防止)	2 2 2 - 1	生活環境の保全に関する条例に基づく指導	環境整備課	環境問題に関するさまざまな苦情に対し、現地調査等を行い、関係者に対し改善指導等を行うもの。	苦情処理件数【件】	令和6年度目標値 328	令和7年度目標値 283	令和8年度目標値 263	近年は苦情内容が煩雑化してはいるが、個々の苦情の解決を図ることで、環境保全意識の向上に一定の成果を上げている。	条例施行後、住民等からの苦情の申出については、関係課及び関係機関と連携を諮り対応しているが、原因者が特定できない事例等の対応について検討する必要がある。また、これまでと同様に苦情に対し速やかに現場を確認し、適切な指導を行うとともに、環境に関する啓発を行い、さらに市民の環境保全意識の向上を図る必要がある。	4 50%以上達成	
						令和6年度実績値 224	令和7年度実績値 245						
						計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				
						次年度以降の改善策							
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				
2 2 2 - 2		地域猫活動の促進による糞害被害の防止	環境整備課	地域猫活動に取り組む住民等で組織される団体を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、もって猫に起因する生活環境被害の軽減及び猫の引取数の減少を図る。	手術券を活用し手術した頭数【頭】	令和6年度目標値 25	令和7年度目標値 20	令和8年度目標値 11	1団体で7頭の不妊去勢手術を完了し、活動地域の猫に起因する生活環境被害の軽減に寄与した。	活動地域が限られているため、市内全域で本事業の目的を達成するに至っていない。 地域猫活動の認知度が依然として低いことや、活動を希望する地区の住民の理解を得られない等の課題があるため、多様な手段で活動内容や効果について周知を行い、活動地域を増やす必要がある。 また、活動団体が車両の確保について難しくなったため、今年度は思うように手術を受けさせることが出来なかった。	3 50%未満達成		
					令和6年度実績値 26	令和7年度実績値 7							
					計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度					
					次年度以降の改善策								
					事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持					

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業 No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価				
							指標名称【単位】	目標値及び実績値								
基本目標Ⅱ うるおいのある快適な生活環境をつくる	環境美化活動の推進	不法投棄の防止	2 2 3 - 1	環境パトロール等の実施	環境対策課	市民の清潔な生活環境保持のため、 ・環境パトロールの実施や不法投棄物の回収および監視カメラ、看板等の設置作業 ・依頼を受けた各課所管の市有地の草刈りや回収、側溝・樹木等の消毒作業を行う。 (※指標の目標値については、状況によって実績が変動するため、あくまで活動の目安として設定している。)	パトロール日数（飯塚地区）【日】	令和6年度目標値 240	令和7年度目標値 240	令和8年度目標値 246	市民や土地所有者（所管課）から依頼があったものではなく、不法投棄が目立つ箇所には積極的に不法投棄防止看板の設置に取り組んだ。	ごみ集積器具設置補助金の制度紹介を積極的に行ったものの申請件数は前年度と比較して8基減少していた。 「補助金の制度についてそもそも知らなかった」という声があったので認知度を高める必要がある。	4 50%以上達成			
							令和6年度実績値 242	令和7年度実績値 234								
							パトロール日数（額田、庄内、穂波、筑穂地区）【回】	令和6年度目標値 340	令和7年度目標値 340	令和8年度目標値 334						
							令和6年度実績値 343	令和7年度実績値 332								
							監視カメラ、看板の設置数【件】	令和6年度目標値 30	令和7年度目標値 50	令和8年度目標値 30						
							令和6年度実績値 50	令和7年度実績値 30								
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				補助金のお知らせについてHPの「注目情報」への掲載や、市報での周知等、無差別に市民の方が閲覧できるような環境を作る。		
	公害対策の徹底	騒音、振動、悪臭など公害の監視・指導の徹底	2 3 1 - 1	事業活動等の監視による公害の防止	環境整備課	本事業は、騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁などの公害対策を実施することにより、市民の安全で健康的な生活環境を保全することを目的としている。	特定施設の設置及び特定建設作業の実施の届出の審査件数【件】	令和6年度目標値 54	令和7年度目標値 56	令和8年度目標値 50	遠賀川水系の水質検査（31地点）を年2回（9月、2月）実施した他、特定施設の設置及び特定建設作業の実施届出の審査を44件実施した。以上により、公害発生源の監視を行っている。	市内で事業活動を行っている各企業と協議を行い、協定締結を進めていく必要がある。	4 50%以上達成			
							令和6年度実績値 57	令和7年度実績値 44								
							水質検査実施箇所数【箇所】	令和6年度目標値 39	令和7年度目標値 31	令和8年度目標値 31						
							令和6年度実績値 39	令和7年度実績値 31								
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				市内の各事業者と協議を行い、環境保全協定締結を進めることで、事業者の環境意識の向上を図り、市民の生活環境の保全に努める。		

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価								
							指標名称【単位】	目標値及び実績値												
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進	ごみ発生抑制（断る、減らす）	3 1 1 - 1	ペーパーレス化の推進	情報管理課	庁内で実施される研修や会議において、ペーパーレス化を推進することで、職員の業務負担の軽減、印刷にかかるコストの削減等の効果が見込まれるため、ペーパーレス化の周知及び啓発に加え、環境の整備を行うもの。	ペーパーレス会議・研修の実施回数【回】	令和6年度目標値 150	令和7年度目標値 334	令和8年度目標値 294	ペーパーレス化の方針を策定し、庁内における推進の基本的な枠組みを整備した。また、一部の部署においては、情報管理課が貸与しているノートパソコンを活用したペーパーレス会議の実施が確認されるなど、先行的な取組が進んだ。	ペーパーレス会議は進んでいるものの、さらなる推進の徹底と継続的な庁内周知が重要である。加えて、令和8年1月から印刷単価が約2倍に上昇したことから、無駄な印刷を抑制する観点でもペーパーレス化の重要性が一層高まっている。	4 50%以上達成							
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
							304	245												
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度										
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充										
							次年度以降の改善策													
			3 1 1 - 2	生ごみ処理機に関する普及・啓発	環境整備課	エコ工場の協力のもと、生ごみ処理機の作成教室を開催し、各世帯における生ごみ処理機の普及を図り、ごみ発生量の削減に努める。	生ごみ処理機作成教室開催数【回】	令和6年度目標値 7	令和7年度目標値 7	令和8年度目標値 7	生ごみ処理機配布会を5回開催し、57名に配布した。今年度エコスタにて配布予定だったが、中止の為配布できなかった。	エコ工房通信や市報等による更なる情報掲載を検討する必要がある。	4 50%以上達成							
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
							5	5												
							令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値											
							生ごみ処理機配布個数【個】	70	70	70										
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
		84	57																	
		計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策														
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	維持	事業周知方法の強化・検討														
		再利用・再資源化の促進	3 1 2 - 1	資源回収団体奨励補助金の交付	環境整備課	ごみの減量化及び資源化を推進するとともに、市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、事前に登録した資源回収団体に対し回収量に応じた補助金を交付するもの。	資源回収団体の新規登録数【団体】	令和6年度目標値 6	令和7年度目標値 6	令和8年度目標値 6	登録団体による資源回収実績は、計2,076,816kg（紙類・布類・空き缶・空びんの総計）となっている。また、新規登録は9団体、活動再開依頼を行った16団体の内4団体が活動を再開するなど、広報活動等により団体活動を促進することができた。	更なるごみの減量化（資源化）率向上を図るには、活動団体数の増加及び1団体当たりの回収量の増を要するため、広報活動を強化するとともに、活動していない団体に対し、活動再開を促していく。	5 達成（100%）							
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
							3	9												
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度										
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	拡充	拡充										
							次年度以降の改善策													
							3 1 2 - 2	ペットボトルキャップ回収事業の促進	環境整備課	限りある資源を循環させるごみゼロの社会づくりを目標に循環型社会を推進する取組として、市民、小中学校、企業等の協力によりペットボトルキャップを回収し、ごみの減量化を図り、再生プラスチック製品（プリンター、定規等）に再利用する。				ペットボトルキャップ回収箇所【箇所】	令和6年度目標値 34	令和7年度目標値 34	令和8年度目標値 34	市報や市ホームページにて情報掲載を行い、事業の周知・啓発を行った結果、2か所(日本生命保険相互会社・一般社団法人飯塚市スポーツ協会)の新規事業者が増えたが、今年度は回収を実施しなかった団体があったため、回収箇所は前年度より減少した。	ペットボトルキャップ回収事業の周知の継続がさらに必要である。	4 50%以上達成
															令和6年度実績値	令和7年度実績値				
														32	28					
														計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
														事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	維持	維持			
														次年度以降の改善策						
			3 1 2 - 3	フリーマーケット等の開催による再利用（リユース）の促進	環境整備課	エコ工房まつりにおいて、フリーマーケットを開催するほか、定期的に子ども服交換会等の再利用を促進する事業を実施する。	エコ工房まつりへの来客数【人】	令和6年度目標値 700	令和7年度目標値 700	令和8年度目標値 600	子ども服交換会の参加人数前年度と比べて9名多くなった。24件のフリーマーケット出店、30件のぶちフリーマーケット出店の合計54件の出店があり、419名の来場者を得た。	イベントの宣伝の更なる強化が課題となる。	4 50%以上達成							
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
							595	419												
							令和6年度目標値	令和7年度目標値	令和8年度目標値											
							子ども服交換会実施回数【回】	18	19	19										
								令和6年度実績値	令和7年度実績値											
18	18																			
令和6年度目標値	令和7年度目標値						令和8年度目標値													
子ども服交換会参加人数【人】	200						200	200												
	令和6年度実績値						令和7年度実績値													
147	156																			
計画年度	令和8年度						令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策											
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	維持	維持	当イベントの宣伝の更なる強化																

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価					
							指標名称【単位】	目標値及び実績値									
基本目標Ⅲ 循環型社会・脱炭素社会を実現する	省エネ活動、再生可能エネルギー導入の促進	国民運動「COOL CHOICE」の推進	3 2 1 - 1	市民向け啓発事業の開催による省エネ行動の促進	環境整備課	「緑のカーテンエコプロジェクト」でのグリーンカーテンの普及、「打ち水大作戦」や「クールシェアいっづか」等の地球温暖化防止に関する各種啓発事業を実施することにより、市民の温暖化防止活動への意識向上を図る。	啓発事業開催数【回】	令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 4	令和8年度目標値 4	グリーンカーテン普及を目的とした「緑のカーテンエコプロジェクト」、夏季の冷房使用数の低下や省エネ学習を目的とした「クールシェアいっづか」、打ち水普及や省エネ学習を目的とした「打ち水大作戦」、太陽光電池を用いたランプ工作教室による再エネ普及を目的とした「エコLightナイト」を開催した。 ・緑のカーテンエコプロジェクト：384名参加 ・クールシェアいっづか：59名参加 ・打ち水大作戦：83名参加 ・エコLightナイト：53名参加	主催イベント数が多い課であるため、参加者数を維持しつつ、各イベントに対する人件費を可能な限り抑えられるような方を考案・実施する必要がある。	5 達成（100%）				
							令和6年度実績値	令和7年度実績値									
							4	4									
							啓発事業参加者数【人】	令和6年度目標値 450	令和7年度目標値 450	令和8年度目標値 550							
							令和6年度実績値	令和7年度実績値									
							561	579									
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				各イベントにおいて参加者数を維持しつつ、人件費を可能な限り抑えられるような方を考案・実施			
		3 2 1 - 2	市職員の省エネ行動促進	環境整備課	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進の一環として、市職員の省エネに関する取組状況調査を実施し、市職員の省エネ行動を促す。	職員の取組状況調査実施回数【回】	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 1	令和8年度目標値 1	年度当初に優先的取組項目として省エネに関する取組の15項目を設定し、全職員に取組の実施を促した。また、設定した項目の取組状況について12月に調査を行い、行動について振り返ることで、省エネに関する取組の意識付けに繋がった。 職員に対する啓発、取組状況調査による行動の振り返りを毎年行うことにより、省エネ行動が全体的に定着していているように感じる一方、積極的に取り組んでいない人が一定数見られる。職員個人単位で、前年度の取組状況と比較できるようにするなど工夫を行う。 また、近年の気候変動による厳しい暑さ・寒さを鑑み、健康面に配慮した啓発を行っていく必要がある。	5 達成（100%）						
						令和6年度実績値	令和7年度実績値										
						1	1										
						計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			次年度以降の改善策					
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持				優先的取組項目の更新、庁内掲示板を用いた情報提供・啓発の実施、前年度回答との比較により更なる取組意識の向上を図る					
						3 2 2 - 1	公共施設における再生可能エネルギー利用の促進	環境整備課	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進の一環として、市が所管する学校や公共施設における太陽光パネルの設置を促進する。			公共施設等における太陽光パネル設置累計件数【件】	令和6年度目標値 38	令和7年度目標値 38	令和8年度目標値 38	先進的な取り組みを行っている自治体への視察を実施し先進事例や取り組み方法について知見を得ることができ、本市での効果的な導入について検討を行ったが、今年度においては導入実績なし。 施設更新時のみの導入となっており、既存施設における導入可能性調査の検討の余地がある。ペロブスカイト太陽電池を率先導入する必要がある。また、社会実装の状況（生産体制・施工方法等の確立等）を踏まえて導入目標を検討する。	5 達成（100%）
												令和6年度実績値	令和7年度実績値				
												38	38				
		計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度					次年度以降の改善策							
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持					公共施設の更新計画に基づく施設更新・新設時において、費用対効果やエネルギー効率、補助金の活用等を考慮しながら、太陽光発電設備の設置を検討する。また、補助金等を活用し、既存施設を対象とした導入可能性調査の実施を検討。							
		3 2 2 - 2	再生可能エネルギー導入目標の策定	環境整備課	2030年までの46%減、2050年までの脱炭素化の目標実現に向け、効率的に再生可能エネルギーの導入を進めるため、目標実現に必要な再生エネ導入量、及び導入に向けた施策等を定める『飯塚市再生可能エネルギー導入目標』を策定し、第3次飯塚市環境基本計画への反映を行う。導入目標策定に係る調査・推計等の策定支援業務については、本市と包括連携協定を締結している近畿大学 産業理工学部にて委託し、さらなる官学の連携推進を図る。 ※令和5年度：再生エネ導入目標等の策定 令和6年度：『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』への反映					再生可能エネルギー導入目標等の策定【式】	令和6年度目標値 -	令和7年度目標値 -	令和8年度目標値 -	-	対象外		
										令和6年度実績値	令和7年度実績値						
-	-									-							
『地球温暖化対策実行計画【区域施策編】』への反映【式】	令和6年度目標値 1					令和7年度目標値 -	令和8年度目標値 -										
令和6年度実績値	令和7年度実績値																
1	-																
計画年度	令和8年度					令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策									
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	廃止					廃止	廃止	-									
3 2 3 - 1	地産地消の推進（フードマイレージの低減）	農林振興課	飯塚市地産地消推進協議会へ補助金を交付し、地産地消拡大を推進する活動を支援するもの。	農業体験【校】	令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 4	令和8年度目標値 4	市内4校の小学校を対象に農業体験、学校給食体験イベントへの地元食材の提供、地産農産物の販売、PRチラシの配布を行うことで食育及び地産地消の推進を図った。 イベント規模が小さくPRの発信力が弱いため、規模の大きなPRの場を検討する必要がある。	5 達成（100%）								
				令和6年度実績値	令和7年度実績値												
				4	4												
				各種イベントでの地元農産物直売、PR【回】	令和6年度目標値 1	令和7年度目標値 2	令和8年度目標値 2										
				令和6年度実績値	令和7年度実績値												
				1	3												
				計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			次年度以降の改善策							
				事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			地産地消推進につながり、地元食材を提供可能なイベントで地元食材を提供し地産地消をPRする							
3 2 4 - 1	第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく対策の推進	環境整備課	一事業所として、エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）、第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）等に基づき、市施設でのエネルギー使用量の削減及びCO2排出量の削減に向けた取組を実施する。	地球温暖化防止対策実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量【t-CO2】	令和5年度目標値 14,179	令和6年度目標値 14,179	令和8年度目標値 14,179	令和6年度における温室効果ガスの総排出量は 17,127.92t-CO2となり、前年度（令和5年度）と比較して約7.30%の増加となった。 基準年度（H25）と比較した削減率は、23.80%であり、本計画の目標値である55.1%削減に届いていない状況である。 温室効果ガス排出量については、市が直接的に排出するものが主な要因ではないものの、大幅に増加している。使用エネルギー総量も微増していることから、更なる省エネルギー対策の推進や再生エネ導入拡大など、温室効果ガス削減に向けた具体的な施策を強化する必要がある。コストバランスを考慮し、環境負担の少ない電力メニュー等への切り替えも検討する必要がある。	4 50%以上達成								
				令和5年度実績値	令和7年度実績値												
				15,963	17,128												
				計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			次年度以降の改善策							
				事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における職員及び施設所管課への温室効果ガス排出量削減目標達成に向けた啓発活動の強化。							

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価				
							指標名称【単位】	目標値及び実績値								
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	情報発信手段の多様化	多様な媒体による情報発信	4 1 1 - 1	市公式ホームページの充実	シティプロモーション担当	行政に関わる情報を各課が作成し、ホームページ管理者(情報発信係)が内容を確認後、インターネットを経由して対外的に情報を発信している。また、閲覧者に適切な情報を発信するために、サイトの各種コンテンツの管理、サイトの充実並びに端末のセキュリティ確保等を行っている。	ホームページアクセス数【回】	令和6年度目標値 6, 600, 000	令和7年度目標値 6, 500, 000	令和8年度目標値 6, 000, 000	事業者と連携し、HPのリニューアル業務を行うことができた。それに伴い、デジタルプラットフォームの基盤になる「デジタル市役所」をはじめとした各種サブサイトの作成及び公開、申請・手続に関するナビゲーション機能（2種類）を導入した。	令和8年3月がリニューアル日ということで、年度内での導入後の分析を行う期間が限られ、新しいHPに対する利用者・職員の意見などを今後集約する必要がある。	4 50%以上達成			
								令和6年度実績値 4, 833, 897	令和7年度実績値 4, 175, 119							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充				「広報いいづか」とHPを紐づけるID検索業務の開始、また、ページの深層化を起こさないような分類管理の徹底、適切なサブサイト運営を管理者業務として行い、利用者に分かりやすいサイト運用を行う。また、HPの運用においてやむを得ず予算執行を必要とする機会が発生した際はそれらを検討し、予算計上、執行を行う。利用者に新たなHPを知ってもらう機会でのPR（自治会連合会など）を実施する。		
		「広報いいづか」による情報発信	4 1 1 - 2	「広報いいづか」による情報発信	シティプロモーション担当	毎月1回約41,000部、市民が必要とする情報を掲載した「市報」を発行する業務。編集については、民間企業のノウハウを活用するため一部委託にて実施。配布については、自治会約260か所・公共施設、コンビニ、駅などで行い、また、市ホームページやアプリ、電子書籍サイトへ掲載することで、より多くの市民に情報を提供している。	掲載媒体数（アプリ・電子書籍・ホームページ）【媒体】	令和6年度目標値 6	令和7年度目標値 6	令和8年度目標値 4	市報に関する満足度調査では平均83%が満足（またはやや満足）と回答、全国広報コンクールでも前回より倍近くの点数を獲得することができた。また、実務的な研修を外部講師と広報担当者にてそれぞれ実施し、職員の広報力向上を図れた。広報紙の視認性向上を図るため、来年度から白黒ページを2色刷りに変更する予算要求を行った。	情報管理課予算のページ（主に市役所情報コーナー）についてはルールを設定し、内容や情報量の精査を行うことができたが、各担当課が予算を持っているページはいまだにばらつきがあり、文字数削減の継続及び月によるページ数や内容の精査を行う必要がある。また、各担当者の広報力向上のため、より実践的な研修を取り入れていく必要がある。	4 50%以上達成			
								令和6年度実績値 6	令和7年度実績値 4							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充				これまでのアンケートや全国広報コンクールの総評を分析し、毎年恒常的に掲載しているページを中心に情報量の削減やレイアウト変更などを担当者と調整する。また、一定ページのテンプレ化など、全体を通し統一感のある広報紙作成のためのルールづくりを実施。カラーページや特集ページを増やし、運用ルールの全般変更のための外部コンサル導入、アクセシビリティ（外国語対応、視覚障がい者向け読み上げ対応）に配慮したデジタルブック導入なども検討していく。		
		ICTを活用した多様なコミュニケーション手段の導入	4 1 2 - 1	AI自動応答サービスの導入推進	情報管理課	AI自動応答サービス(AIチャットボット)は、会話情報をデータベースに蓄積させておくことで、会話をロボットが代行してくれるプログラムである。スマートフォン、パソコン、LINEから市役所に問い合わせを行う市民に対して、FAQ登録データを整備することで、24時間年中無休問い合わせへの回答を行うもの。最終的には、「職員の電話対応時間の削減」、「24時間年中無休対応による市民サービスの向上」、「電話が接続できない課題に対する解決」を図るもの。	月の応答件数【件】	令和6年度目標値 2, 500	令和7年度目標値 2, 600	令和8年度目標値 -	毎月ログ精査・再学習を行い、高い正答率を維持することができた。また、質問数も増加した。	正答率向上のため、FAQの新規登録件数を増やす取り組みを行ったが、正答率は昨年度に比較し微増にとどまった。しかしながら、AIチャットボットの利用者件数は、微増しており、上記取組が、寄与しているものと考えられる。	5 達成（100%）			
								令和6年度実績値 2, 686	令和7年度実績値 2, 739							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	拡充	廃止				令和7年度をもって本事業を廃止としたもの。		
			4 1 2 - 2	小中学校における情報機器の導入推進	教育総務課	学校の通信インフラや情報機器の維持管理等を行うことで、円滑かつ効率的な情報教育及び学校業務のための環境を整備する。	各学校での定期メンテナンス回数【回】	令和6年度目標値 29	令和7年度目標値 29	令和8年度目標値 29	令和2年度に再構築した学校ネットワークについて、5年を経過するため学校ネットワークの再構築を実施した。保守業者・ICT研究指導員とともに各学校を訪問し、通信障害やトラブルの情報を蓄積し、ネットワークの安定稼働を確保した。機器故障時の迅速な対応により、大きな機器トラブルは発生していない。また、来年度（令和8年度）に学級編成により増加となる教室については、アクセスポイントや電子黒板の整備を令和8年3月中に予定している。	令和8年度は小学校のGIGAスクール端末のリプレイスを予定しているため、適切に整備を実施する。また令和8年度中学校においても段階的に35人学級編成となるため、アクセスポイントや電子黒板の整備が必要である。	5 達成（100%）			
								令和6年度実績値 29	令和7年度実績値 29							
							学校での障害、問い合わせ等に対するの初動対応率【%】	令和6年度目標値 100	令和7年度目標値 100	令和8年度目標値 100						
								令和6年度実績値 100	令和7年度実績値 100							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				令和2年度に整備したGIGAスクール端末について、小学生分を令和8年度中に購入し、令和9年度運用に向け整備する。		

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業 No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価	
							指標名称【単位】	目標値及び実績値					
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	自治会・交流センターの活用による地域コミュニティの活性化	4 2 1 - 1	中央公民館の利用促進	生涯学習課	市民グループ・団体等が公民館で学習やスポーツ及び集会等の自主的な活動が行うことができるよう、社会教育・生涯学習の拠点として快適な学習空間の提供や機材の貸出等を行う。	公民館利用者数【人】	令和6年度目標値 82,000	令和7年度目標値 9,400	令和8年度目標値 82,000	令和7年5月から令和8年1月までの改修工事において、施設の空調の改修や館内すべてのトイレを洋式化するなど、老朽していた箇所の改修を行い、快適な施設等の提供ができるよう整備することができた。 また、施設の休館に伴い、中央公民館で活動できないサークル等を各交流センターで実施するなどの支援を行い、活動の継続を支援した。	令和8年3月よりイイツカコミュニティセンターが再開したため、市民への再開周知を十分に行い、利用者獲得に努める。	4 50%以上達成
								令和6年度実績値 59,464	令和7年度実績値 5,746				
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持			
			4 2 1 - 2	交流センター等を活用した市民サークル活動の促進	生涯学習課	学習者がグループを形成し、学習者相互の人間関係を構築しながら継続して学習し、その学習成果を地域に還元することでまちづくりにつなげていくことを目的とする。	サークル数【サークル】	令和6年度目標値 220	令和7年度目標値 180	令和8年度目標値 185	各交流センターと協議を行い、サークル設置基準の見直しを行うことができた。 また、各センターまつり等において、日々の学習成果発表の機会を設けることができた。	R7年度にサークル設置基準の見直しを実施できたものの、今後も継続してサークルのあり方等について検討していく必要がある。	5 達成（100%）
								令和6年度実績値 169	令和7年度実績値 179				
							サークル受講生【人】	令和6年度目標値 2,700	令和7年度目標値 2,500	令和8年度目標値 2,500			
								令和6年度実績値 2,357	令和7年度実績値 2,523				
			4 2 1 - 3	まちづくり協議会に対する補助金の交付・人的支援	まちづくり推進課	まちづくり協議会の組織活性化及び地域の課題を地域で解決するような活動の推進を図ることを目的として、まちづくりに関する事業の計画作成や団体間の連携、協力に関する経費について「飯塚市まちづくり協議会補助金交付要綱」に沿った補助金の交付、及び人的支援を行う。	補助金の交付額【千円】	令和6年度目標値 35,965	令和7年度目標値 35,977	令和8年度目標値 33,033	「みんなのまちづくりフェスタ2026」に向けて実務者会議を7回開催し、企画立案から実施、ふりかえりまでを実務者主体で進めた。実務者の意見やアイデアを反映しながら事業を進めることで、主体的な参画意識の醸成につながったほか、企画運営を通じた人材育成の機会ともなり、まちづくり協議会の組織力の強化につながった。	まちづくり協議会の活動は広がりを見せているものの、担い手の固定化や役員の高齢化などにより、継続的な人材確保や次世代の担い手育成が課題となっている。また、地区によって活動状況や組織体制に差が見られることから、好事例の共有や各地区の実情に応じた支援を行い、組織力の強化につなげていく必要がある。さらに、協議会の意義や活動について地域住民の理解を深める取組も求められている。	5 達成（100%）
								令和6年度実績値 34,696	令和7年度実績値 35,977				
							地域住民が参加する事業活動数	令和6年度目標値 300	令和7年度目標値 300	令和8年度目標値 600			
								令和6年度実績値 463	令和7年度実績値 558				
		4 2 1 - 4	自治会への加入促進	まちづくり推進課	協働のまちづくりの根幹をなす自治会への加入促進を目的として事業を実施している。 転入転居者に対し、市役所窓口で自治会に関する説明を行い訪問承諾書の記入をお願いしている。訪問承諾書は、自治会長に渡し、その後自治会による加入促進が行われる。	自治会加入率【%】	令和6年度目標値 72	令和7年度目標値 72	令和8年度目標値 72	「自治会のうた」を活用した出前授業を実施した。前年度小学生を対象とし計2校で実施したが、今年度は市内中学校へ出前授業を展開し、小学校2校、中学校3校、計5校で実施した。実際に地域で活動をされる方が説明をすることで、自治会長を含むその他関係者のモチベーション向上や事務局との連携がさらに強化された。 ・地域の拠点である各交流センターにおいて常時ポスター掲示とチラシを設置し啓発を行うことができた。 ・自治会連合会と嘉穂無線ホールディングスで行った、防災ワークショップを昨年度に引き続き開催し、自治会の役割や重要性について啓発を行うことができた。	・今年度行ったワークショップや啓発活動を継続していき、今年度作成した動画やポスターを、掲示だけでなくSNS等を使って啓発していく。	4 50%以上達成	
							令和6年度実績値 48.15	令和7年度実績値 46.25					
						イベント等でのPR活動【回】	令和6年度目標値 36	令和7年度目標値 30	令和8年度目標値 25				
							令和6年度実績値 28	令和7年度実績値 21					
		多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 1	環境に関する市民ワークショップの開催	環境整備課	広く市民の参加を募る市民ワークショップを開催し、環境課題や課題解決のための具体的取組について議論し、実行する機会を提供することにより、本市の環境施策の推進において市民参画によるマンパワーの確保、アイデアの創出を図るとともに、参加者が環境問題を「自分ごと」として考えるための意識を醸成し、市民が自発的に環境課題の解決に取り組むための土壌づくりを行う。	ワークショップの開催回数【回】	令和6年度目標値 4	令和7年度目標値 -	令和8年度目標値 -	-	-	廃止
								令和6年度実績値 4	令和7年度実績値 -				
							ワークショップの参加人数【人】	令和6年度目標値 80	令和7年度目標値 -	令和8年度目標値 -			
								令和6年度実績値 91	令和7年度実績値 -				
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	廃止	廃止			

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業 No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価							
							指標名称【単位】	目標値及び実績値											
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 教育・協働・連携の推進【重点施策】	多様な主体、多様な世代の交流・連携の推進	多様な主体、世代が気軽に情報交換できる場の創出支援	4 2 2 - 2	市民交流プラザの運営による情報交換の機会創出	市民活動支援課	市民の自主的で公益的な活動を支援するための市民交流プラザを設置・運営する。平成30年度から市直営に完全移行し、市民活動の場の提供や各種情報提供等を行っている。	イベント情報誌の発行【回】	令和6年度目標値 12	令和7年度目標値 12	令和8年度目標値 4	近隣自治体の類似施設を訪問・視察し、登録団体との関係づくりや自主イベント運営について幅広くヒアリングを実施。得られた知見をもとに、今後の団体への情報共有方法の改善に役立てる取り組みを進めた。	市民交流プラザがコミュニティセンターへ移転するにあたり、現在の登録団体や利用者に対して適切な広報・周知を行い、円滑な移転を実現する体制づくりが課題である。	4 50%以上達成						
								令和6年度実績値	令和7年度実績値										
							利用者数【人】	令和6年度目標値 7,800	令和7年度目標値 7,800	令和8年度目標値 4,600									
								令和6年度実績値	令和7年度実績値										
								6,698	6370										
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策					
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	維持	維持				移転後の市民交流プラザにて、自主イベントの実施や情報収集・発信を積極的に行い、地域の多様な市民活動がより活発に展開される環境づくりを進めていく。					
		環境保全団体などのネットワーク形成支援	4 2 3 - 1	ワークショップ開催によるネットワーク形成支援	環境整備課	広く市民を対象に、環境をテーマとするワークショップを開催し、各環境団体にとってのネットワークを広げるための機会提供を行う。	参加団体数【団体】	令和6年度目標値 10	令和7年度目標値 -	令和8年度目標値 -	-	-	廃止						
								令和6年度実績値	令和7年度実績値										
							1	-											
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策					
			事業の方向性（維持・拡充・縮小）	廃止	廃止	廃止	-												
4 2 3 - 2	エコスタいいづか開催による情報交換の機会提供			環境整備課	市民や学校、環境団体等が取り組んでいる環境保全活動について、情報共有を行う機会提供を行い、市民や団体間のネットワーク形成を図る。	協力団体数【団体】	令和6年度目標値 60	令和7年度目標値 60	令和8年度目標値 60	環境保全に関する情報交換の機会の提供や市民の環境保全に対する意識の高揚を図るため、計48団体が参加協力を行った。 ・後援：2団体 ・協賛：10団体 ・環境保全活動発表団体：8団体 ・工作・体験・展示、物販の出展：21団体 ・その他：2団体 ・キッチンカー：5団体	協力団体同士が積極的、相互的な意見交換を行う場（反省会・情報交換会等）を設けることができていない。	4 50%以上達成							
							令和6年度実績値	令和7年度実績値											
		54	48																
		計画年度	令和8年度			令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策											
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	協力団体が参加する、開催後の反省会・情報交換会等の実施															
環境教育・学習の充実	エコ工房、コミュニティセンター、交流センターを活用した講座、セミナーイベントの拡充支援	4 3 1 - 1	コスモス大学における講座開催	生涯学習課	高齢者に学習の機会を提供し、健康で充実した生きがいづくりと積極的な社会参加を促し、教養の向上を図るとともに、習得した知識や技術などを人材派遣事業やボランティア活動を通して、地域に還元できる人材の育成を目指す。	受講者数【人】	令和6年度目標値 97	令和7年度目標値 36	令和8年度目標値 74	改修工事に伴い1年間休講し、令和8年度以降従来通りの運営ができるように、事業の見直しを協議した。	休講していたこともあり、在校生のケア及び生徒の確保が必要であるため、募集の広報など広く周知する。	5 達成（100%）							
							令和6年度実績値	令和7年度実績値											
						59	36												
						年間実施講座数【回】	令和6年度目標値 184	令和7年度目標値 0	令和8年度目標値 160										
							令和6年度実績値	令和7年度実績値											
							189	0											
						計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策						
						事業の方向性（維持・拡充・縮小）	拡充	拡充	拡充				事業が再開するため、生徒数の確保が必要となる。また、一般教養コースと選択コースの両方に加え、各種イベントをもれなく実施することが求められるため、コーディネーターと協議し検討していく。						
						4 3 1 - 2	エコ工房の利用促進	環境整備課	環境保全に関する情報発信・学習体験の場の提供を目的とした、飯塚市が所有する環境教育施設（飯塚市リサイクルプラザ工房棟）の管理運営事業。施設の管理運営を指定管理者に委託している。				各種環境教室等の開催数【回】	令和6年度目標値 186	令和7年度目標値 187	令和8年度目標値 187	エコ工房にて様々な環境教室を実施し、市民に対する環境啓発を図った。162回の環境教室等を開催し、1,402名が参加・受講した。 イベントを31回開催し、850名の参加があった。	イベントによっては、参加者数の減少が見受けられるものがある。 施設設備の老朽化により、突発的に修繕を要する場面が発生する。	4 50%以上達成
														令和6年度実績値	令和7年度実績値				
		164	162																
		各種環境教室参加者数【人】	令和6年度目標値 1,630	令和7年度目標値 1,630	令和8年度目標値 1,300														
			令和6年度実績値	令和7年度実績値															
			1,275	1,402															
		イベントの開催数【回】	令和6年度目標値 33	令和7年度目標値 34	令和8年度目標値 25														
			令和6年度実績値	令和7年度実績値															
			21	31															
		イベント参加者数【人】	令和6年度目標値 1,400	令和7年度目標値 1,400	令和8年度目標値 900														
令和6年度実績値	令和7年度実績値																		
899	850																		
計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策															
事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	エコ工房における各種環境教室・イベントの周知強化															

基本目標	施策方針	取組の方向性	事務事業 No. (報告用)	事務事業名 (報告用)	担当課	事務事業内容	指標			令和7年度成果	令和8年度課題	自己評価				
							指標名称【単位】	目標値及び実績値								
基本目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実現に向けた横断的取組 【施策】教育・協働・連携の推進【重点	環境教育・学習の充実	専門家による自然観察会の開催	4 3 2 - 1	自然体験プログラム「いいねん!」の開催	環境整備課	地元専門家の協力のもと、主に小学生とその親世代を対象とした、自然体験プログラムを開催し、自然環境保護意識の醸成を図る。	自然体験プログラム開催回数【回】	令和6年度目標値22	令和7年度目標値14	令和8年度目標値8	自然体験プログラムを14回開催しており、延べ216名の参加者に対して、生態系保全に関する啓発を行った。自然と触れ合う貴重な機会として子どもたちが楽しんで参加している。	自然体験プログラムの新規参加者の更なる獲得が課題となる。	5 達成（100%）			
								令和6年度実績値令和7年度実績値								
								21	14							
							自然体験プログラム参加者数【人】	令和6年度目標値220	令和7年度目標値140	令和8年度目標値230						
								令和6年度実績値令和7年度実績値								
								223	216							
							計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度				次年度以降の改善策		
							事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持				小学生の保護者向けに情報配信できるtetoruでの事業の周知		
		学校などにおける環境教育の推進	4 3 3 - 1	環境学習教材の配付	環境整備課	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律に定める基本理念に則り、環境保全の意欲の増進を目的とした環境教育事業や、環境教育の支援を行う。	環境副読本配付回数【回】	令和6年度目標値1	令和7年度目標値1	令和8年度目標値1	環境副読本の配布を今年度も行い、環境教育の推進に貢献できた。	市内における副読本の活用状況について把握を行えていない。	5 達成（100%）			
								令和6年度実績値令和7年度実績値								
								1	1							
								令和6年度実績値令和7年度実績値								
								800	-							
								令和6年度実績値令和7年度実績値								
		10	10	10												
		令和6年度実績値令和7年度実績値														
		5	-													
		令和6年度実績値令和7年度実績値														
		計画年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	次年度以降の改善策										
		事業の方向性（維持・拡充・縮小）	維持	維持	維持	当イベントの周知活動の強化、参加団体への声かけ強化										